

地域枠医師の派遣先候補医療機関の承認について

1 地域枠とは

- 地域枠とは国の「緊急医師確保対策（2007年）」等に基づき、県内各大学の医学部に設置されている一般枠とは別枠（臨時定員枠）の入学枠のことである。
- 本県では2009年度から地域枠を設置しており、各大学への設置数は、現在、名古屋大学に5名、名古屋市立大学に7名、愛知医科大学に10名、藤田医科大学に10名の計32名となっている。また、2021年8月1日現在における地域枠入学者の累計は、退学者等を除き278名となっている。
- 地域枠による入学者は、県の修学資金貸与条例に基づき修学期間中（6年間）に修学資金の貸与を受け、医師免許取得後、原則、臨床研修2年（必須）の後に、**医師不足のある県指定の公的医療機関等に派遣**され、診療業務に7年従事する。（研修期間を含む義務年限は9年間で、義務年限を終了した場合は修学資金の返還を全額免除している。）
- なお、本県地域枠医師の派遣先医療機関は、医師確保計画上の「医師多数区域」以外の区域に属する一定規模の医師数以下の公的医療機関等を選定の上、具体的な**派遣先（県の指定する医療機関）**を、**地域医療対策協議会において協議の上、決定すること**となっている。

<県内4大学医学部の地域枠医学生の入学者数推移>

入学年度	地域枠定員数	入学者数	名大	名市大	愛知医大	藤田医大	(学年等の凡例)
2009	5	4	2(108)	2(92)	—(105)	—(110)	地域派遣2年目
2010	10	9	4(112)	5(95)	—(105)	—(110)	地域派遣1年目
2011	10	8	5(112)	3(95)	—(105)	—(110)	専門研修3年目(義務猶予)
2012	15	15	5(112)	5(95)	5(110)	—(110)	専門研修2年目
2013	15	14	4(112)	5(95)	5(110)	—(110)	専門研修1年目
2014	15	15	5(112)	5(95)	5(110)	—(110)	臨床研修2年目
2015	25	25	5(112)	7(97)	8(113)	5(115)	臨床研修1年目
2016	32	32	5(112)	7(97)	10(115)	10(120)	6年生
2017	32	30	3(112)	7(97)	10(115)	10(120)	5年生
2018	32	31	5(112)	7(97)	10(115)	9(120)	4年生
2019	32	31	4(112)	7(97)	10(115)	10(120)	3年生
2020	32	32	5(112)	7(97)	10(115)	10(120)	2年生
2021	32	32	5(112)	7(97)	10(115)	10(120)	1年生
合計	287	278	57	74	83	64	

※「入学者数」は2021年8月1日現在における数（退学者等を除く。）。

※カッコ内の数は、地域枠を含む各大学の医学部総定員数。

<従事イメージ>

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年
パターンA	臨床研修		指定医療機関従事①			指定医療機関従事②		指定医療機関従事③		
パターンB	臨床研修		専門研修(任意)			指定医療機関従事①		指定医療機関従事②		
										義務猶予

※指定医療機関では1か所当たり2～3年間の従事が基本

2 2022（令和4）年度の派遣先候補医療機関の選定について

(1) 派遣先の候補となり得る医療機関

以下の原則を踏まえる。（参考資料1参照）

- ① 従事しようとする診療領域ごとに、定められた医師数が2021(令和3)年4月1日時点において、それぞれ下記の基準にあてはまること。
 - a 内科系等：内科系（内科、総合内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、神経内科）、外科系（外科、消化器外科、整形外科）、麻酔科、救急科、総合診療科の常勤医師計が40人以下
 - b 小児科：小児科に属する常勤医師が1人以上5人以下
 - c 産婦人科：産婦人科に属する常勤医師が2人以上5人以下

なお、産婦人科常勤医師が1名で、非常勤医師の常勤換算と合わせて2名以上となる医療機関については、産婦人科専門医を取得した地域枠医師を派遣する場合のみ、指定医療機関の対象とする。

- ② 派遣調整時点において、医師確保計画上の「医師多数区域」以外の区域に属する医療機関であること。

(2) 優先順位の付与について

上記(1)を満たす医療機関について、診療領域ごとにデータを抽出し、優先順位を付ける。

① 内科系、外科系、麻酔科、救急科、総合診療科について

算出式：(A+B)/Cの値が高い順とする。なお、Dの値は参考情報とする。

A：年間（2020（令和2）年度）内科等の診療科の救急搬送延患者数

B：年間（2020（令和2）年度）内科等の診療科の緊急入院延患者数

C：2021（令和3）年4月1日時点の内科系及び外科系全般等の診療科常勤医師合計数

D：年間（2020（令和2）年度）の、無医地区等巡回診療件数+継続的な医師派遣も含むへき地診療所等への代診医等の派遣件数

◇算定結果

医療圏	医療機関名	A	B	C※	D	(A+B)/C	優先順位
海部	津島市民病院	3,253	2,044	43		123.19	10
	あま市民病院	1,331	388	13		132.23	7
尾張西部	一宮市立木曾川市民病院	26	68	9		10.44	20
	総合大雄会病院	4,175	1,367	52		106.58	14
	稲沢市民病院	2,029	866	24		120.63	12
	厚生連稲沢厚生病院	1,116	1,181	21		109.38	13
尾張北部	総合犬山中央病院	2,231	501	21		130.1	8
	厚生連知多厚生病院	1,380	1,329	21		129	9
知多半島	常滑市民病院	962	749	20		85.55	16
	公立西知多総合病院	4,367	3,034	49		151.04	3
	厚生連足助病院	247	602	13	18	65.31	18
西三河北部	みよし市民病院	230	26	10		25.6	19
	碧南市民病院	2,548	1,465	29		138.38	6
西三河南部西	八千代病院	2,758	1,707	37		120.68	11
	西尾市民病院	3,691	1,007	32		146.81	5
東三河北部	新城市民病院	1,131	725	19	20.5	97.68	15
	東栄医療センター(東栄診療所)	10	6	3		5.33	21
東三河南部	豊橋医療センター	2,441	2,676	20		255.85	1
	成田記念病院	1,579	1,407	38		78.58	17
	蒲郡市民病院	2,968	2,071	27		186.63	2
	厚生連渥美病院	1,553	1,858	23		148.3	4

※C欄には(1)①aの「内科系等」以外の診療科の人数も含む為、40人以下となっていない医療機関もある。

② 小児科について

算出式：(A+B) / C の値が高い順とする。

A：年間小児科救急搬送延患者数
B：年間小児科緊急入院延患者数
C：2021（令和3）年4月1日時点の小児科常勤医師数

◇算定結果

医療圏	医療機関名	A	B	C	(A+B)/C	優先順位
尾張西部	総合大雄会病院	113	158	4	67.75	2
西三河南部西	西尾市民病院	45	9	2	27	3
東三河北部	新城市民病院	0	0	1	0	5
東三河南部	蒲郡市民病院	122	218	5	68	1
	厚生連渥美病院	2	0	1	2	4

③ 産婦人科について

算出式：(A+B) / C の値が高い順とする。

A：年間正常（経膈）分娩件数
B：年間帝王切開術件数
C：2021（令和3）年4月1日時点の産婦人科常勤医師数等

◇算定結果

医療圏	医療機関名	A	B	C※ (非常勤含む)	(A+B)/C	優先順位
尾張西部	厚生連稲沢厚生病院	132	36	4.5	37.33	5
知多半島	公立西知多総合病院	0	0	3	0	6
西三河南部西	碧南市民病院	62	41	2.4	42.92	4
東三河南部	豊川市民病院	264	121	6.2	62.1	1
	蒲郡市民病院	161	51	4.7	45.11	3
	厚生連渥美病院	90	16	2.19	48.4	2

※C欄には非常勤医師の人数も含む為、5人以下となっていない医療機関もある。

3 2022年度（令和4年度）地域枠医師派遣先対象医療機関 一覧

(1) 内科系・外科系・麻酔科・救急科等の診療業務に従事する場合

優先順位	医療機関名	優先順位	医療機関名
1	豊橋医療センター	1 2	稲沢市民病院
2	蒲郡市民病院	1 3	厚生連稲沢厚生病院
3	公立西知多総合病院	1 4	総合大雄会病院
4	厚生連渥美病院	1 5	新城市民病院
5	西尾市民病院	1 6	常滑市民病院
6	碧南市民病院	1 7	成田記念病院
7	あま市民病院	1 8	厚生連足助病院
8	総合犬山中央病院	1 9	みよし市民病院
9	厚生連知多厚生病院	2 0	一宮市立木曾川市民病院
1 0	津島市民病院	2 1	東栄医療センター（東栄診療所）
1 1	八千代病院		

注) ゴシック体の医療機関は、令和4年度から新たに対象となった医療機関

【2022年度から対象外となった医療機関】

なし

(2) 小児科の診療業務に従事する場合

優先順位	医療機関名	優先順位	医療機関名
1	蒲郡市民病院	4	厚生連渥美病院
2	総合大雄会病院	5	新城市民病院
3	西尾市民病院		

【2022年度から対象外となった医療機関】

一宮西病院（小児科医師数が選定基準以上）

稲沢市民病院（派遣希望無し）

厚生連知多厚生病院（派遣希望無し）

(3) 産婦人科の診療業務に従事する場合

優先順位	医療機関名	優先順位	医療機関名
1	豊川市民病院	4	碧南市民病院
2	厚生連渥美病院	5	厚生連稲沢厚生病院
3	蒲郡市民病院	6	公立西知多総合病院

【2022年度から対象外となった医療機関】

一宮西病院（産婦人科医師数が選定基準以上）